



里山たより

2019年3月 第223号

発行：里山クラブ可児

代表 西井 孝司

編集、校正：里山クラブ可児

広報 大見 昭敏

1、活動報告

2/6 (水プロ) 参加会員：11名

朝から寒い水プロ活動日となりましたが元気に11名の会員が参加してくれました。先月に山ほどできた薪を芝生広場近くから夢工房まで運び入れる作業を行い軽トラで3往復して片付ける事が出来ました。一部は置き場の関係で今しばらくはこのままです。

2/13 (水プロ) 参加会員：10名

風もなく日差しもたっぷりで絶好の活動日となり10名の会員が参加して田んぼの畦拡幅工事の土入れ班とロープを利用した稲の稲架作り班に分かれての作業を行う事にしました。その後は、畑作業や主要道路の整備や稲架掛け広場の落ち葉清掃などを行う事が出来ました。



2/17 (例会) 参加会員：16名+こどもの庭会員：5名

久しぶりの好天気の例会に21名の会員が参加してくれました。今日は、今月末の環境フェスタでの椎茸の原木の予約販売に向けて原木の切り出し作業としばらく体調を崩していた棟梁も元気に顔を出してくれましたので物置の建前が始まりました。





2/20 (水プロ) 参加会員：10名

春のような暖かい日となり10名の会員が参加して主要林道の整備や環境フェスタでの里芋販売に向けて芋室から里芋の掘り出しや物置小屋の建前工事も進んできました。

主要な柱の土台へのコンクリ固めも行ない徐々に完成に向っています。



2/23 (環境フェスタ出展準備) 参加会員：13名

環境フェスタへの出展準備に13名の会員が参加してくれました。

里芋の袋詰めなど販売品の準備と会場の設営を行い明日の開始を待つばかりに準備完了です。

2/24 (例会+環境フェスタ出展) 参加会員：20名

昨年比べて暖かい日となった環境フェスタでした。

販売用に持ち込んだ里山農園産品の里芋、もち米、干し椎茸や銀杏、切り干し大根などすべて完売の状況となりました。また、椎茸の原木の予約販売では100本近くの予約が入りました。

ブースの中では、会員による無料提供の工作品に子供達も目を輝かせて参加していました。



2/27 (水プロ) 参加会員：11名

朝からどんより曇り昨日とは異なり多少の肌寒さが感じられる中11名の会員が参加してくれました。今日の活動は、環境フェスタで100本ほどの椎茸のホダギの予約が入ったので早速に原木取りを行い先日に採集した数量と併せて概ね賄える数量を確保できました。

また物置小屋の屋根葺き工事も急ピッチで行われガルバリウム波板で屋根ふきが終了し残る作業は間柱建てと雨樋設置等が行われる予定です。



2、2月度の我田の森への入山人数

- | | | |
|-------------------|------|------------|
| 1、里山クラブ可児会員 | 81人 | (累積：972人) |
| 2、自然育児こどもの庭(親と幼児) | 296人 | (累積：2393人) |
| 3、講座 | 0人 | (累積：199人) |
| 4、行事 | 0人 | (累積：0人) |
| 5、外部団体 | 0人 | (累積：136人) |
| 6、協力団体(岐阜森林愛護隊) | 20人 | (累積：91人) |

H30年度の累積入山人数：3791人

3、活動予定

例会：3/17、24の日曜日

椎茸の原木採取、菌打ち作業や遊歩道の整備が予定されています。

*** 3/17の第一例会日は、H30年度の総会も行われます。**

水プロ：3/6、13、20、27の水曜日

棚田の周辺、溜池廻りの保全作業を予定しています。

講座：3月度は、予定されていません。

行事：特に有りません。